



子どもたちとあいさつをかわしましょう!

八幡小学校では本年度の重点教育活動として次のことを据えて取り組んでいます。

- 授業のきまりの徹底 ○ 授業・学習環境のユニバーサルデザイン化
- 進んであいさつ ○ いじめのない学校づくり ○ すみずみまできれいに

このことは、始業式で2学期特に頑張ってもらいたいこととして子どもたちに伝えました。また、先生方にも自分はこの重点について2学期にどのように取り組むかを考え、実践してもらいたいことをお願いしました。

今回は、重点の3つめのあいさつについてお知らせします。

あいさつは、人と人とのコミュニケーションの始まりです。朝の「おはようございます。」や「はい。」といった返事は気持ちのよい空間を作り出します。

学校では、代表委員の活動として朝のあいさつ運動をしています。しっかりと声を出したり、相手の顔を見たりしてあいさつができる子もいます。しかし、もともとあいさつの声しか出ない子や、受け身でのあいさつになっている子も多いのが現状です。

2学期初めの代表委員会では、どんなあいさつにしていきたいか、話し合いました。

○元気にあいさつをする

○笑顔であいさつをすることで全校を笑顔にする

○目を見てはっきりとあいさつをする

などの意見が出て、練習をしてみました。実際にやってみるとこのようなあいさつをすると心が明るく、元気が出てきました。朝のあいさつでも代表委員が心がけ、リードしています。

先生方は、次のような指導を行っています。

- 9月中に道徳で扱い、あいさつの具体的な場面を設定し、身に着ける。
- 朝、自分から先にさわやかなあいさつをする。
- 担任からあいさつをする。返してくれたら大喜びする。
- あいさつは相手を認める声掛けと心得たあいさつをする。

保護者の皆様、地域の皆様も、子どもたちへのあいさつや声掛けを進んでしていただくとありがたいです。朝の「おはようございます。」下校の時などの、「おかえり。」の一声を、大人からお願いします。



自分たちで考えて、命を守る行動を

平成の時代は、大きな災害に見舞われた時代でありました。阪神淡路大震災、東日本大震災、中越地震、長野県北部地震、神代断層地震など大きな被害が出て、人命が失われた地震がありました。また、近年は大雨による洪水などの災害も毎年のように発生しています。

最近ではテレビの報道でも、「自分で判断して命を守る行動をしてください」という呼びかけが多く聞かれるようになりました。八幡小学校でも、今までの避難訓練を見直し、どうしたら安全を確保できるか考え、行動できる力を育てていこうと9月の防災訓練を行いました。

例年、「自分の教室・自分の席にいるときに地震が起きた」という場面設定で行っていましたが、学校では別の教室で授業をすることもあつし、席を離れていることもあります。

そこで、1～4年生は、右上のようなワークシートを使って、教室で給食の準備中に地震が来たらどうしたらよいかをみんなでも考えました。

5・6年生は特別教室（今回は音楽室・図書館・PC教室）で、どのように身を守ったらよいかを考え、実践してみました。避難訓練後のまとめの会では、

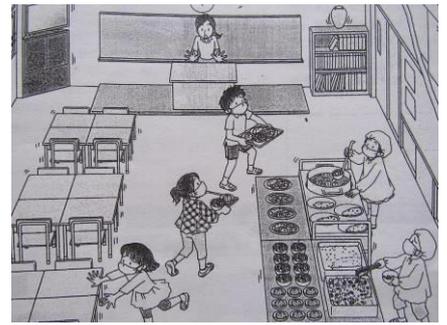
音楽室・・・机がないので、教室の真ん中に集まり、音楽袋で頭を守る

図書館・・・本棚から離れた机の下にもぐって身を守る

PC室・・・机の下にもぐり、入り口のドアを開け、逃げ道を確認する

子どもたちはこんな方法を発表しました。

学校でも、家でも、通学路でも、外出先でも、今ここで地震が起きたらどうしたらいいかを想像しておくことが大切です。倒れてきそうなものや落ちてきそうなものは、どれか、どんな行動をしたらよいか、家族とどう連絡を取るかなど、普段から話題にしておきたいものです。



お知らせ

○八幡小学校ホームページは、6月にリニューアルし、それ以来登校日は毎日新しい記事を更新しています。学校のできごと、学年のできごと、八幡小の歴史など、たくさんの情報が載っています。9月からは「校長室より」も新設。ぜひご覧ください。

○裏面には、「今の八幡小は・・・その4」を印刷しました。昭和6年から昭和48年までの歴史と、給食、プールについての今昔の話です。裏面もご覧ください。

